**2019年度　　基本方針**

|  |  |
| --- | --- |
| 役職名　　副理事長 | 氏名　木野田　幸平 |
| この霧島の地には地域を想う団体が多く存在し、我々もその一つであります。その中で様々な媒体を用いて広報をしてまいりましたが他団体の名が出るのが現状で霧島ＪＣの認知度は地域に浸透しておらず住民との関りが薄いのが正直なところです。また、目的や想いが浸透していない事で会員の拡大にも繋がらず減少傾向にあります。未来ビジョンに沿った活動・運動が出来るよう戦略的に広報そして発信から拡大をしていく必要があります。  まずは、本年度霧島青年会議所の方向性がずれないために、自身が理事長の想いや目的を理解し委員会が迷っている時には一人ひとりをサポートして納得できるまで向き合いながらパイプ役として務め理事長を補佐してまいります。そして、委員会が円滑に運営していくために、委員長との連絡調整を行い固い絆を築き委員会メンバーに対し和の精神を持ちながら、一人ひとりが活躍できる環境を整えてまいります。さらに、委員会が未来ビジョンに則った効果的な事業を実施するために、今日まで培ってきた経験や知識を活かし助言を行い、自らが率先して行動し模範となれるように務めてまいります。また、各委員会との連携を図るために、副理事長同士の繋がりを活かしながら協力し、助け合い各委員会に落とし込んで青年会議所全体の組織力向上に繋げて参ります。そして、我々青年会議所が益々の発展をしていくために、戦略的な広報の仕方を考案し霧島青年会議所の目的や想いを発信して認知度を上げてまいります。さらに、より良い社会の実現に取り組み続ける団体になるために、市民意識を変革し会員の拡大に取り組み同志の輪を広げてまいります。  戦略的に広報することにより青年会議所の目的や想いが伝わることで地域住民との関りが増え地域のニーズを捉えながら活動することが出来ます。また、認知度が上がる事により市民意識を変革することで同志が増え未来ビジョンに沿った運動が出来ると確信します。  背景２００文字  目的４８０文字  結果１２０文字  計　８００文字（句読点含む、ローマ字・数字は全角表記） | |